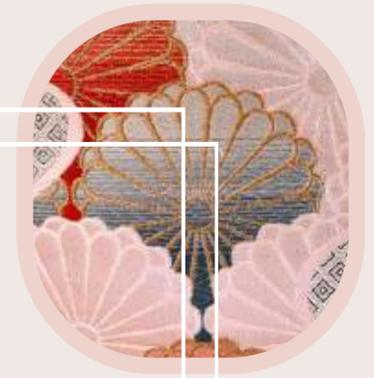




Musubu  
STUDIO

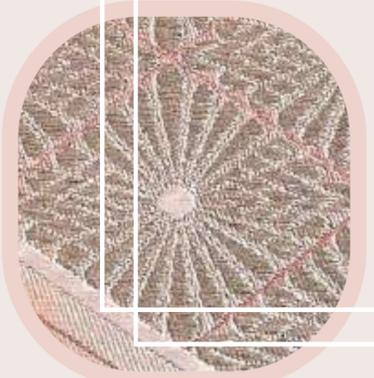


Brand Book



# Brand Vision

結ぶ-Musubu- 私たちの思い  
帯が結ぶ、過去と未来。 人と人の縁。  
日本の地方文化と伝統工芸を世界へ。



# ABOUT



伝統への思いから生まれたブランド

数十年前、成人の節目に親から贈られた着物と帯。金銀糸で彩られたその美しさに歓喜したあの日が、今の原点です。

しかし、今日では、これらの帯や着物が適切に評価されず、蚤の市で雨ざらしになっている光景を目にしました。伝統工芸の価値が失われていくことに心を痛め、「この美しさを守りたい」という思いがMusubu誕生のきっかけとなりました。



“This is where tradition meets timeless style.”

# 全てが1点ものの 世界に一つだけの アートピース



何百本もの輝く絹糸や金糸銀糸で織り出される日本の  
伝統工芸品、帯。そんな素晴らしい伝統ある芸術品を  
あなたの日常へ。

# 100% SILK 100% Made in Japan

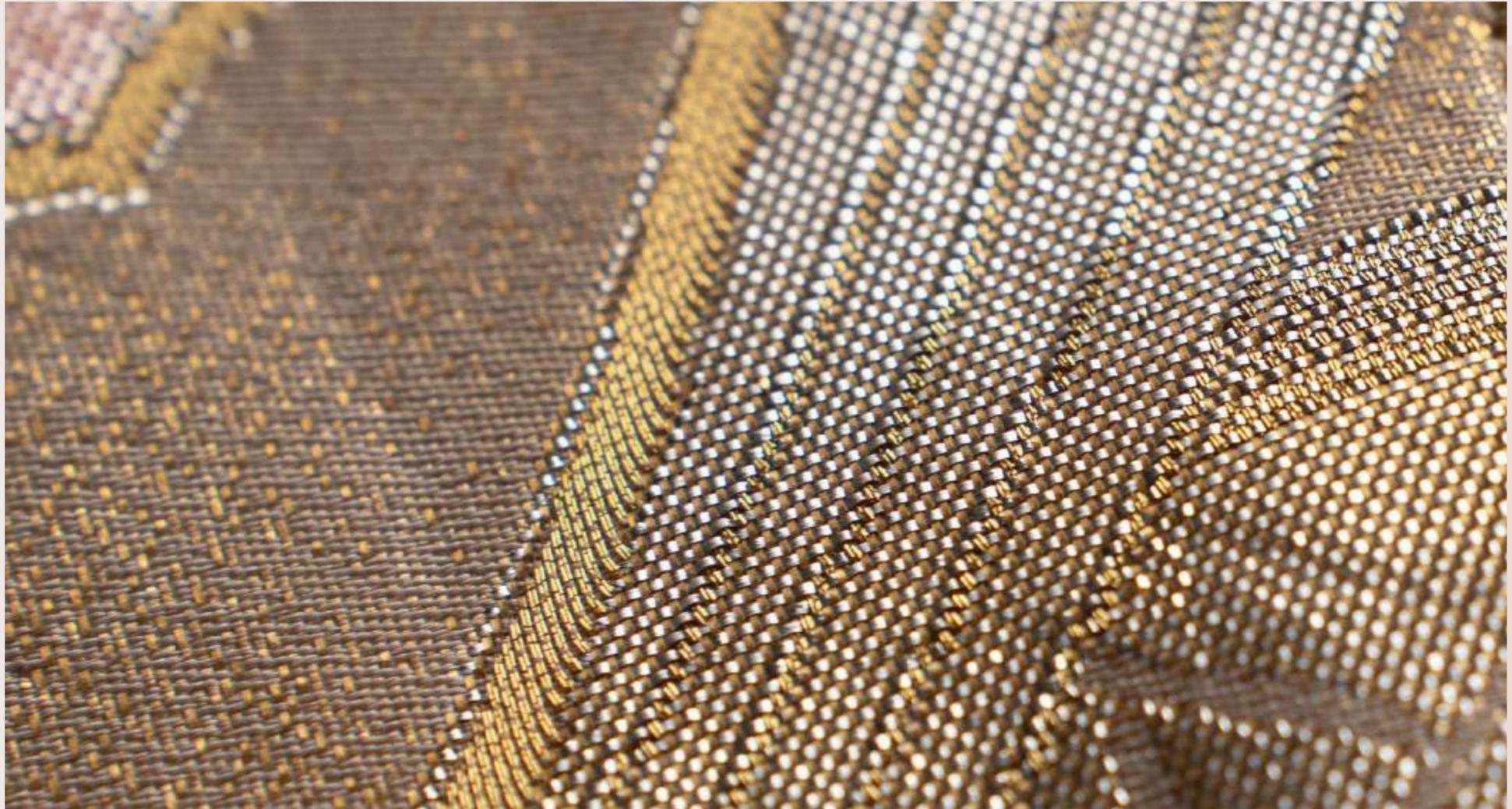


バッグの裏地も持ち手もストラップも、  
すべてシルク素材を使用。

# 厳選された帯 - 受け継がれる美



MusubuSTUDIOでは、高品質な帯を厳選し、特に格式高い佐賀錦や西陣織を中心にセレクト。



## 佐賀錦 – 黄金の織物が生む至高の美

金箔やプラチナ箔を和紙に貼り、細く裁断したものを経糸に用いた絢爛豪華な帯です。織るのがとてもむずかしいと言われており、金の箔は日が当たるとふわっと上品に煌めきように織られています。世界にも例を見ない日本独自の織技術で、17世紀に佐賀一帯を治めていた鍋島藩の夫人が代々工夫を重ねて完成したと言われ、帯地全体の重厚感と美しい輝きが特徴です。



## 西陣織 – 京織の芸術

西陣織は、金糸銀糸を含めた多彩な色糸を使って色鮮やかに織られ、格式の高い美しい紋様を作ることができるのが特徴です。一本の帯に50色以上も使うことがあるそう。それゆえに時間と手間が掛かりますが、高度な技術から生まれるその柄の細やかさにも定評があり、織りとは思えない細密で格式の高い文様に心を奪われています。

## 組紐 – 伝統の技をバッグに纏う



MusubuSTUDIOでは、日本の伝統工芸を大切にし、バッグの持ち手やストラップにもすべて組紐を使用。帯の美しさを引き立てるように、裏地や内装も厳選し、すべて100%シルクの日本素材にこだわっています。柄の魅力が最大限に生きるよう、一つひとつ丁寧にコーディネートし、唯一無二のバッグへと仕立てています。

# 紋の意味を知る



## 伝統の美、 帯に込められた物語

古くから伝わる日本の着物や帯を彩る模様は「紋（文）」と呼ばれ、それぞれに大切な意味や想いが込められています。

例えば蝶は、美しい姿へ成長することから、女性の美や立身出世の象徴として用いられます。ここでは、代表的な紋様とその意味をご紹介します。

帯に込められた物語を通じて、日本の美の世界を堪能してください。





## 蝶紋

見た目の悪い幼虫から美しい蝶へ成長することから、女性の美を叶える文様といわれています。脱皮を繰り返して美しく舞い上がるという縁起の良さから、立身出世や不死不滅などの意味があり武家にも好まれました。ただ蝶は花から花へ飛び移るため、浮気などを表すと、結婚式での使用を遠慮される方もいらっしゃいます。



## 鳳凰

古来より中国で神鳥とされてきた伝説上の鳥が「鳳凰」です。高貴・聖なるもの・不老不死・夫婦円満・邪気払いなど多様な意味を持ちます。晴れ舞台にふさわしい柄です。

## 芍薬

牡丹（ボタン）や芍薬（シャクヤク）の柄には、美しさや気品、慎ましきのある女性に育つようにという願いが込められています。高貴さや富貴さ、女性の美しさを表現する花といわれてきました。





## 向い鶴菱

二羽の鶴が向かい合い、菱形を作り出す文様です。この二羽の鶴は夫婦を象徴し、長寿や夫婦円満を意味します。この文様は格の高い着物に用いられ、特に婚礼衣装に多く使用されます。

## 亀甲文

鶴と亀はどちらも長寿と幸運を象徴する吉祥文様とされています。亀甲の六角形の中には、想像上の花が咲いています。

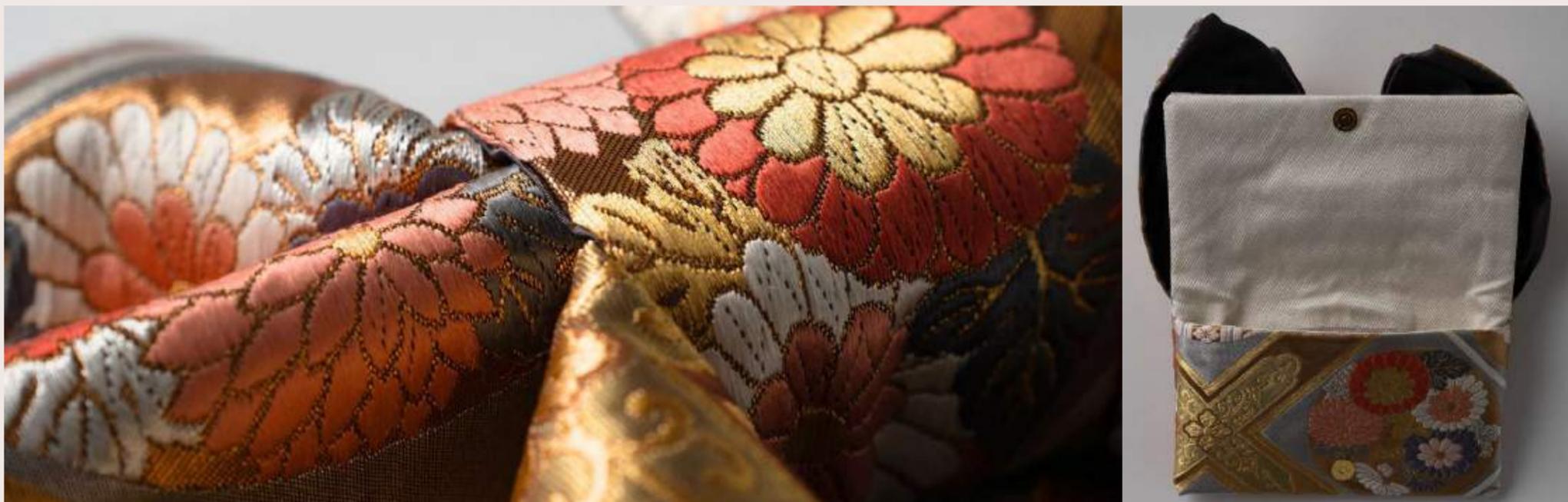


# Musubu's ICON



## DOUBLE RIBBON CLUTCH

ダブルリボンで華やかかつキュートな唯一無二の  
クラッチバッグ。  
パーティや晴れの日。



100%SILKに  
金糸や銀糸で仕立てた  
ラグジュアリーなバッグ。



※すべて一点もののため、写真のデザインは一例です。実際の商品は、それぞれ異なる帯の魅力を活かして仕立てられています。

# Wearable Art



まるで絵画を飾るように  
一番美しく見える面を厳選して  
丁寧に仕立てています。

ちょっとしたお出かけにも、  
ファッションとして日常使いにも。  
13インチのPCもすっぽり入る  
実用的なA4サイズ。



Essentials at hand



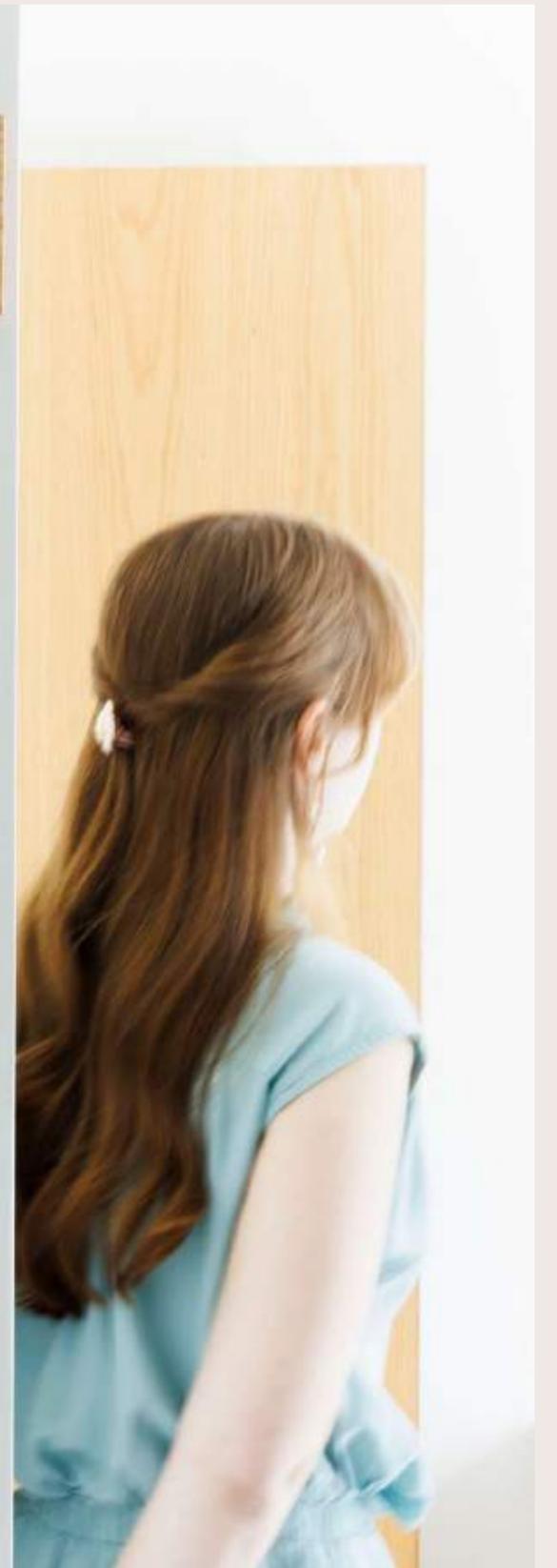
THE EVERYDAY SILK  
SACOCHE

シンプルな装いにアクセントを。

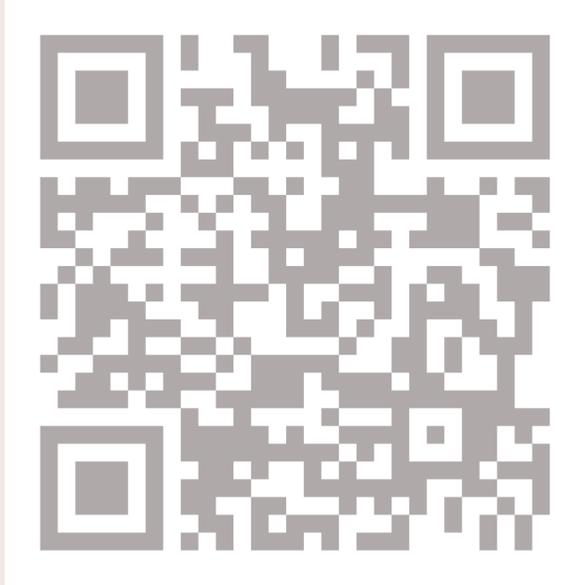


スマホとミニ財布が入る  
日常使いにちょうどいい  
サコッシュ。





@musubu\_studio



Follow us on Instagram!



## ～Musubu STUDIO の環境に対する取り組み～

### ヴィンテージ帯の再生

高品質なヴィンテージ帯を厳選し、現代のライフスタイルに合ったアイテムへと蘇らせます。伝統的な模様や職人技を活かし、未来へ受け継ぐ新たな価値を創造します。

### 無駄を最小限に抑えたデザイン

帯の最も美しい部分をトートバッグとして活用し、残りの生地はサコッシュやアクセサリーに再利用。さらに、小さな端切れもヘアアクセサリーにアップサイクルすることで、素材を余すことなく活かしています。

### 持続可能な素材へのこだわり

天然シルク100%の帯や裏地を使用し、環境に優しい生分解性の素材を採用。美しさと環境配慮を両立した製品づくりを追求しています。

### 環境に優しい製造と包装

必要な分だけを製造し、過剰生産を回避。さらに再利用可能な包装を採用することで、環境負荷を低減しながら美しさを提供します



ABOUT  
— me

## MUSUBU STUDIO 創設者紹介

BranPeak合同会社 創設者

Musubu STUDIO Founder & Brand

Director

河野友香

Yuka Kawano

長年にわたりファッションブランドのマーケティングを担当し、LVMHグループ「マークジェイコブス」のEC&デジタルマーケティングディレクターとして、日本市場でのブランド拡大に貢献しました。人生の折り返し地点で「日本のためにできること」を模索し、2024年5月にMusubu STUDIOを設立しました。

Musubu STUDIOのミッションは、ファッション、デジタル、テクノロジーを融合させ、日本の伝統工芸の魅力を世界に届けることです。「Musubu (結ぶ)」というブランド名には、過去と未来、人と人、地方と世界を繋ぐ願いが込められています。

現在、ビンテージ帯をアップサイクルしたバッグやアクセサリを展開し、「ウェアラブルアート」というコンセプトで海外のファッションやアート関心層に訴求しています。また、地方の生産者と協力し、持続可能なエコシステムを構築。ブランド名にある「STUDIO」は、伝統と革新が交わる創造の場を表しています。

# Shop Now

お買い物はこちらから



<https://musubustudio.com/>



musubustudio88@gmail.com



@musubu\_studio